

- 第6回会議の会議要録から -

(1) 3Rの推進・適正処理に向けた意識向上

- 資源循環課では小学校のエコに関する授業の支援ができるツールを持っていますので、市内の小学校に働きかけるといいのではないのでしょうか。実際、先日小学校で資源循環課の職員と授業に参加しましたが、ヘラスンジャーに来てもらって子供たちの記憶に残るような授業ができたと思っています。子供たちの学んだことが大人になってから生きてくるということもあります。
- 「こつこつ小平もったいないが根づくまち」の看板を作り市内に掲示したいです。
- 3Rの推進について、しっかり取り組んでいる人といい加減な人の差が大きすぎ、根気よく導いていかないとはいけません。
- 資源とごみの分別について、パンフレットの配布だけではよく読まない人がいるので、近所で伝えないとはいけません。
- 基本計画は大変いいことを書いていますが大事なのは、市民にいかに知ってもらうかということですので、市民の意識向上のために、ごみ有料化や戸別収集などの題を付けてごみに関する川柳を募集してみてもどうでしょうか。小平市でごみ川柳を広げれば、いずれ全国的に広がるかもしれません。
- 人に関心を持たない人がとても増えていますので、この無意識層をどうするかということが大切で、若い人は何がもったいないかわかっていないと思います。昔はおばあちゃんの知恵というのがあって、じわーと大事なことが伝わっていました。マナーやモラル、相手を思いやる心を伝えることが大切です。
- 教育が一番大事ですが、啓発や広報をどういう手段で行うかも大事で、市報の一口メモやヘラスンジャーをもっと活用したほうがいいと思います。
- スマホのアプリを作る予定はありますか。足立区や西東京市はアプリを作っています。
- 私は資源事業者ですので、小学校の高学年から中学生を対象に、紙の分別や紙がどうやってメーカーに行くのか体験学習の受け入れができます。
- ごみの分別は痛みがないとやらないですから、具体的に一人当たりいくらの税金が使われているかもっと広報していくことが大切です。
- 以前、最終処分場の見学をした時に埋立地は残り3分の1くらいしか残っていないと聞き、子どもの世代の処分場はどうなってしまうのだろうかと思いましたので、学校で最終処分場の見学をもっとするといいのではないのでしょうか。
- 小学校長をしておりますので、皆様の教育にかける思いがひしひしと伝わってきました。授業ではもったいないの話を子供たちにしてきました。もったいないという言葉に3Rが詰ま

っていると思います。江戸時代は無駄なくものを使ってきたという話をして、リサイクルのためにごみを広げて選り分ける授業をしたことがあります。

○4年生の授業では多くの小学校でごみ処理場の見学をしています。

○立川市で作られた分別冊子が届きましたが、厚い本のため読まないとわからないので、見やすくわかりやすく楽しく分別ができる簡単な冊子があると冷蔵庫にくっつけることができるので便利です。

○分別するためにごみ箱をたくさん置くのは大変なので、家庭でのかしこい分別方法が紹介されるといいのではないのでしょうか。

○ごみに関して新しい情報をいただければ授業でも取り入れていきたいです。また、パンフレットやチラシをもらえれば他校にも案内します。

○ごみ減量実行委員会でごみ減量やリサイクルに関するパンフレットを発行してはどうでしょうか。

○大学でごみの研究をやっていて、昔はリサイクルの研究をしていましたが、だんだん2Rのリデュース、リユースの研究を進めるべきと思うようになり、学会でもそういう方向になってきました。ヨーロッパの映画監督と協力して、邦題「もったいない」という食品廃棄物のドキュメンタリーを作り、それをベースにした本も出しています。

(2) 生ごみの減量（食物資源の資源化推進）

○食物資源循環モデル事業について、生ごみを減らすのが大事ですが、バケツを置く場所や余計なものを入れてはいけないために、参加に踏み出せないでいます。

○食物資源のモデル事業について、参加者が少しずつ増えています。

○生ごみで一番悩ましいのは食料で、どうしてもいっぱい買ってしまいます。冷蔵庫でいつの間にか賞味期限や消費期限が切れてしまい、冷凍食品なら期限が切れても食べますが、冷蔵食品は買い過ぎず、期限内に食べることが大事です。

○生ごみについて、バケツで回収するのではなくて、燃えるごみとは別の袋で生ごみだけを回収するとよいのではないのでしょうか。

○未利用食品は大変もったいないと思います。未利用食品を重量で表示するのではなく、年間で何億円分になるのか金額で表示できるといいと思います。

○食べるものは命を頂いているのだから、無駄なく食べなくちゃいけないと言っています。命を頂いているという食育をすると、子供たちの意識が変わってくると思います。

○食育について、給食指導をしています。好き嫌いのある子がとても多いので、この点は家庭でしっかりやってもらわないと難しいです。アレルギーのお子さんがあるので難しい面もあります。

○生ごみに関しまして、市民農園で生ごみの堆肥化をしている人に優先的に農園を使えるような協定を結べないかと考えています。段ボールコンポストの講習会やEM菌を使った堆肥化講習会が行われていますが、生ごみの自家処理については他にもいろいろな方法がありますので紹介できるといいと思います。

(3) 容器包装プラスチックの資源化推進

○プラスチック資源について、まだまだ近所の意識が低いので声かけが大事です。

○商工会の部会で会議があるときは、過剰包装をなるべくしない、天気を見てその日に売れる分だけを作る、マイバッグ持参者にベリースタンプをおまけするという話などを行っています。

○プラスチックはリサイクルセンターで分別圧縮して、再資源事業者に引き渡し、そこで解体し再度分別しているので、必ずしも合理的なリサイクルがされていません。行政はリサイクルに力を入れすぎない方がいいと思います。むしろ民間に委ねるような姿勢を取らないとごみ減量にならないと思います。プラスチックは海洋汚染の原因になっていますので、生産自体をどうやって減らすか考えていかないとはいけません。

(4) 適正な処理の維持・向上に向けた処理体制の整備

① 3市共同資源物処理施設の整備（新設）

② 他の資源化品目の処理施設の整備（更新）

○武蔵村山のリサイクルセンターで働いている人が気の毒で、3市の中では小平市のリサイクルセンターが一番進んでいるという感想です。

③ 焼却施設等の整備（更新）

○プラスチックはカロリーが高く燃料と同じで、今の焼却炉はプラスチックを燃やしても傷みませんので、積極的にプラスチックを燃えるごみにしてはどうでしょうか。

(5) 家庭ごみ有料化・戸別収集への移行

○戸別収集について、話を聞かないがんこ者がいてごみの出し方が悪く、自分のごみが散らかり、近所の人をそれが清掃していても本人は知りません。戸別になると少し反省するかもしれません。

○有料化されるとお金に関わってくるので、これだけごみを減らすと年間いくら得をするとかをPRできないでしょうか。

- 市民にとって一番関心がある話題は有料化と戸別収集です。さすがに無関心な市民でもほっておけないはずです。立川市、東大和市、国分寺市、東村山市も有料化しています。真剣に細かくしっかり取り組む必要があります。
- 有料化になってカラスにごみが荒らされたら、ごみは誰が掃除するんだろうと話しています。
- 少し乱暴な意見ですが、生ぬるい対処ではごみは減らないし、メリットが小さいとだめです。本気で減らそうとすれば、長い目で見れば小さい頃からの徹底した教育が必要ですが、大人に対しては何か大きなメリットを持たせることが必要です。有料化をやるにしても激しく有料化する、戸別収集もごみ袋に記名するなど、乱暴な規制や縛りをかけたらどうかと思います。
- 戸別収集については危惧することがあり、警察がストーカーにとってごみは情報の宝だと言っていました。戸別収集もこの点に配慮しないとイケません。
- 自分の住む立川市では戸別収集が始まり、最初面倒だと思っていたのですが、スタートしてみると、間違うと分別指導のカードが置かれるなど、分別の意識が高くなります。ストーカーの問題はシュレッダーにして出すなどで対策してはどうでしょうか。
- 有料化との関連では、まじめにごみを出す人とそうでない人の差をつける、まじめな人はできるだけ無料に近づけるのがいいのではないのでしょうか。東大和市はプラスチックも有料のようですが、それは無料でもいいのではないかと、少なくとも定着するまでは無料がいいのではないのでしょうか。多摩市では生ごみを燃えるごみ袋に入れられない人は無料にしているので、有料化の品目は限定してまじめにやれば無料になるのがいいと思います。
- 行政としては安心できる暮らしが重要なのでプライバシーを重視してほしいです。

【その他】

- いなげやではお店の不要な棚などの什器を別の店で使いまわす取り組みをしています。環境チームとして、いなげや環境通信という題目で3RのPRをして各店舗に実施してもらっています。130店舗以上あるのですぐには徹底しませんが、こつこつと実施しています。
- 生活クラブの代表で参加していますが、生活クラブでは例えば牛乳やジュースはビンを使っているのので、ごみは本当に少ないです。トレーにしても紙でリサイクルしていますので、出すごみは本当に少ないです。
- スーパーの拠点回収も重要で、市として資源化のコストを削減することができ、買い物時にもっていけるのが便利だと思います。